宇部市立小中学校適正規模・適正配置計画

～将来あるべき学校の姿とその実現に向けた取り組みについて～

宇部市教育委員会
教育総務課

はじめる前に・・・

◆小中一貫教育

◆施設一体型小中一貫教育

◆義務教育学校　　とは

◆小中一貫教育とは

・連続する小中学校で「めざす子ども像」（教育目標）を共有して、９年間を通じた系統性・連続性のある教育活動を行うもの。

・令和２年度(2020年度)からすべての中学校区で導入。

【メリット】

- 中一ギャップの緩和や解消
- 確かな学力の定着
- 異学年交流などによる精神的な発達

【具体的な取組】

- 「めざす子ども像」を共有し、同じベクトルで児童生徒を育てる
- ９年間を見通したカリキュラムを実施
- 小学校５・６年生で教科担任制
- 小学生と中学生の交流授業
- 小中教員による相互の乗り入れ授業など

【参考】

厚東川中学校区　小中一貫グランドデザイン

宇部市の教育理念

「自立」と「共存同栄」　宇部を愛し、未来を拓く人づくり

憧れの連鎖

小中一貫学校教育目標

志をもち、絆を大切にし、共に未来を創る児童生徒の育成

生きる力から
生き抜く力へ

めざす子ども像　□自分に自信がもてる子　□あいさつができる子　□誰にでも優しくできる子　□ふるさとが好きな子　□粘り強く頑張る子

部会	めざす姿／SDGs	主体	小1　小2　小3　小4	小5　小6　中1	中2　中3
まなび部会	学び続ける	子ども	進んで家庭学習に取り組むことができる	計画的に自主学習に取り組むことができる	自分に合った学習を見つけて実践ができる
		学校	家庭学習の手引きの活用	意欲的な自主学習への働きかけ	適切な進路指導
		家庭・地域	確認、励まし	学習時間の確保	学習環境の整備
こころ部会	人を大切にする 街を支える	子ども	元気よく人とかかわることができる	自分から進んで人とかかわることができる	人・時・場に応じてかかわることができる
			地域にふれる・知る	地域にかかわる	地域文化をつなぐ・つくる
		学校	道徳科、生活科、社会科の充実	地域連携教育の推進	地域貢献活動の推進
		家庭・地域	学校・地域活動への参加	地域活動の場づくり	地域づくり参画への支援
からだ部会	体と生活を守る	子ども	時間に合わせて規則正しい生活ができる	自分で計画を立てて整った生活をすることができる	環境に合わせて生活をコントロールできる
		学校	基本的な生活習慣の指導	健康的な生活習慣の指導	自律した生活への支援
		家庭・地域	就寝時刻や食事の時間の習慣づくり	手伝いやメディア・コントロールの実践補助	自己管理の見守り・支援

地域の活動 （つながり部会）	地区文化祭　地区運動会　夏祭り　地区合同防災訓練　人権教育推進大会 農業体験　参太鼓　らぶ太鼓　結太鼓　紙すき　お茶　小野湖　ビオトープ
小中一貫 ４校交流・連携	修学旅行　宿泊学習　集会学習　特別支援学級の交流　小中連携授業 メディア・コントロール　特認校制度　合同研修会　合同学校運営協議会

【参考】

厚東川中学校区「小中一貫『学校・地域連携カリキュラム』」【生活科・総合的な学習の時間版】　令和６年度版

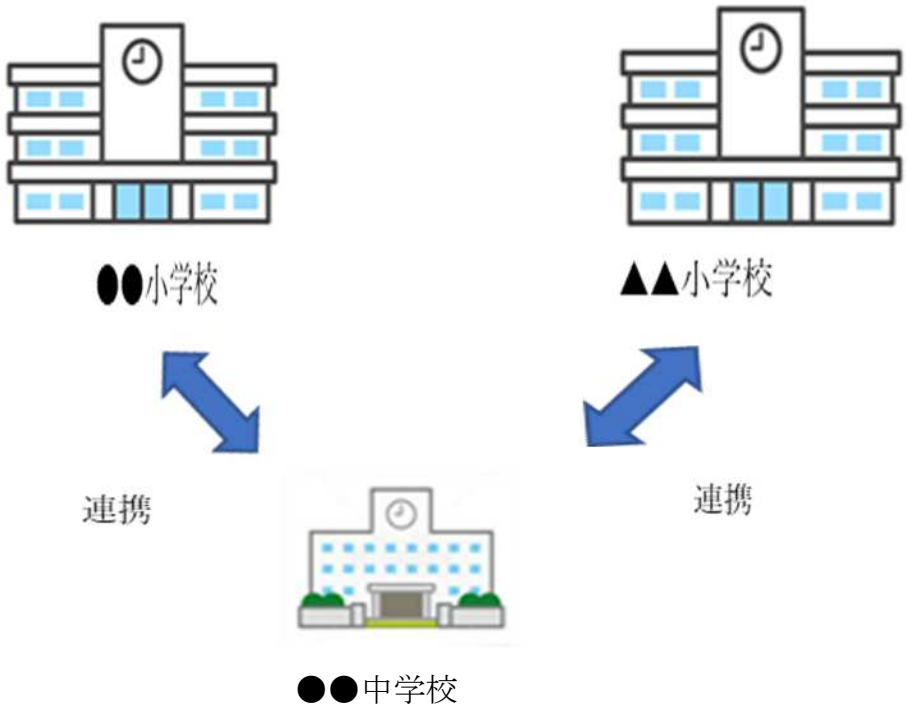
厚東川中学校区　小中一貫教育目標　「志をもち、絆を大切にし、共に未来を創る 児童生徒の育成」

めざす子ども像　■自分に自信がもてる子　■あいさつができる子　■誰にでも優しくできる子　■ふるさとが好きな子　■粘り強く頑張る子

			小学１年	２年	３年	４年	５年	６年	中学１年	２年	３年
学年											
探究課題			身近な自然や文化について知ること				自然環境と産業を守るためにできること			自己実現と社会に貢献できること	
学習方法			知識を得る				課題を発見する			課題を解決する	
			地域にふれる・知る				地域にかかわる			地域の文化をつなぐ・つくる	
生活科 総合的な学習の時間	地域連携	厚東小	あそびにいこうよ	まちたんけん あの人に会いたいな	布染め体験 厚東の歴史	竹博士になろう	※下記地域連携活動の運営・先導		地域に学ぶ	社会とかかわる	未来を見つめる
			竹太鼓								
			田植え・稲刈り・収穫祭・オータムスクール								
		二俣瀬小	そらまめのさやむき 町探検 じゃがいもほり 保育園・幼稚園の友達と一緒に遊ぼう		生き物の飼育観察 （イモリ等）	ダムのあるくらし １０才の集い	永山酒造見学 乗馬体験	平和学習 感謝をこめて 卒業プロジェクト	地域学習 一殿神道・千林尼・平　原岳登山道など文化財につながる道清掃	働く人の話を聞く会 （地域・学校コラボ）	「もっと元気に、もっと好きになる厚東川中校区を考える」 つながりプロジェクト 面接指導
					わたしたちの「ビオトープ」		二俣瀬の歴史調べ・地域の史跡マップ作り				
			柳太鼓								
		小野小	自分の学校を知る 町探検 地域の保育園との交流		小野（産業、文化、特色）の学習 ーハーブ緑茶開発 ー窯、お店、小野湖等の掲示物づくり		小野科 小野の魅力発信 ーパンフレットづくり				
			芋苗植え・芋掘り・昔遊び		郷土料理・お茶づくり・豆腐づくり		紙漉き・しめ縄づくり		厚東川中夢太鼓		
			地域の方とのふれあい学習								
			お茶・和紙・小野湖（カヌー）・梅　に関わる学習								
	キャリア教育		身近な人について知る		役割の大切さを知る		働くことの大切さと苦労を知る		自己理解	自己啓発	自己実現
			家庭の仕事について調べる 家族と自分のつながりについて知る		様々な職業について調べる	将来の夢について考え、調べる	自分に適した職業について考える	実際に働いている人の話を聞く	職業調べ	Ube未来ウォーカー 高校調べ 立志式	修学旅行 進路決定
小中連携・PTA活動			あいさつ運動・わが家のやくそく・メディアコントロール週間・中学校入学説明会・小中合同研修会・集合学習及びオープンスクール・小中地域合同行事（駅伝大会）								
地域連携	地域と協働		地域行事（運動会・ふるさとまつり・文化祭等）への参画と協働・校区清掃・学習成果（太鼓等）の披露・人権教育推進大会・地域や小中学校での作品展示								
	地域からの支援		厚東小		二俣瀬小		小野小				
			・授業支援（講師、地域活動引率） ・米作り体験支援、学習田管理 ・竹林管理、竹太鼓支援 ・キャリア教育講演会の企画、運営		・太鼓指導 ・見守り隊活動（安全） ・朗の読み聞かせ活動 ・環境サポート（校内美化）		・授業支援 ・文化活動支援 ・安全見守り活動		・授業支援（地域・高校生・大学生）　・面接練習 ・花壇整備　・ハートクリーン大作戦（除草ボランティア） ・紙すき体験　・地域の働く人に学ぶ　・保育実習		

◆施設の形態

従来の小中一貫教育
（施設隣接型・分離型）



施設一体型小中一貫校

同一敷地内に、小学校と中学校を設置する施設整備の形態

◆学校の形態

	小中一貫型小学校・中学校	義務教育学校
校長	小学校・中学校に１人ずつ	１人
教職員組織	小学校・中学校に１つずつ	１つ
学年	小学校６年 中学校３年	１年生から９年生

計画の説明

宇部市立小中学校適正規模・適正配置計画

◆計画期間

令和６年度(2024年度)から令和１５年度(2033年度)までの１０年間

計画策定５年後には必要に応じて見直す。

◆学校のあるべき姿

　児童生徒が、多様な考え方に触れ、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていける集団規模と、安心・安全な教育環境のもとで、地域と連携を図りながら、義務教育９年間を見通したつながりのある教育を提供することにより、児童生徒の確かな学び（健やかな成長）を保障できる学校

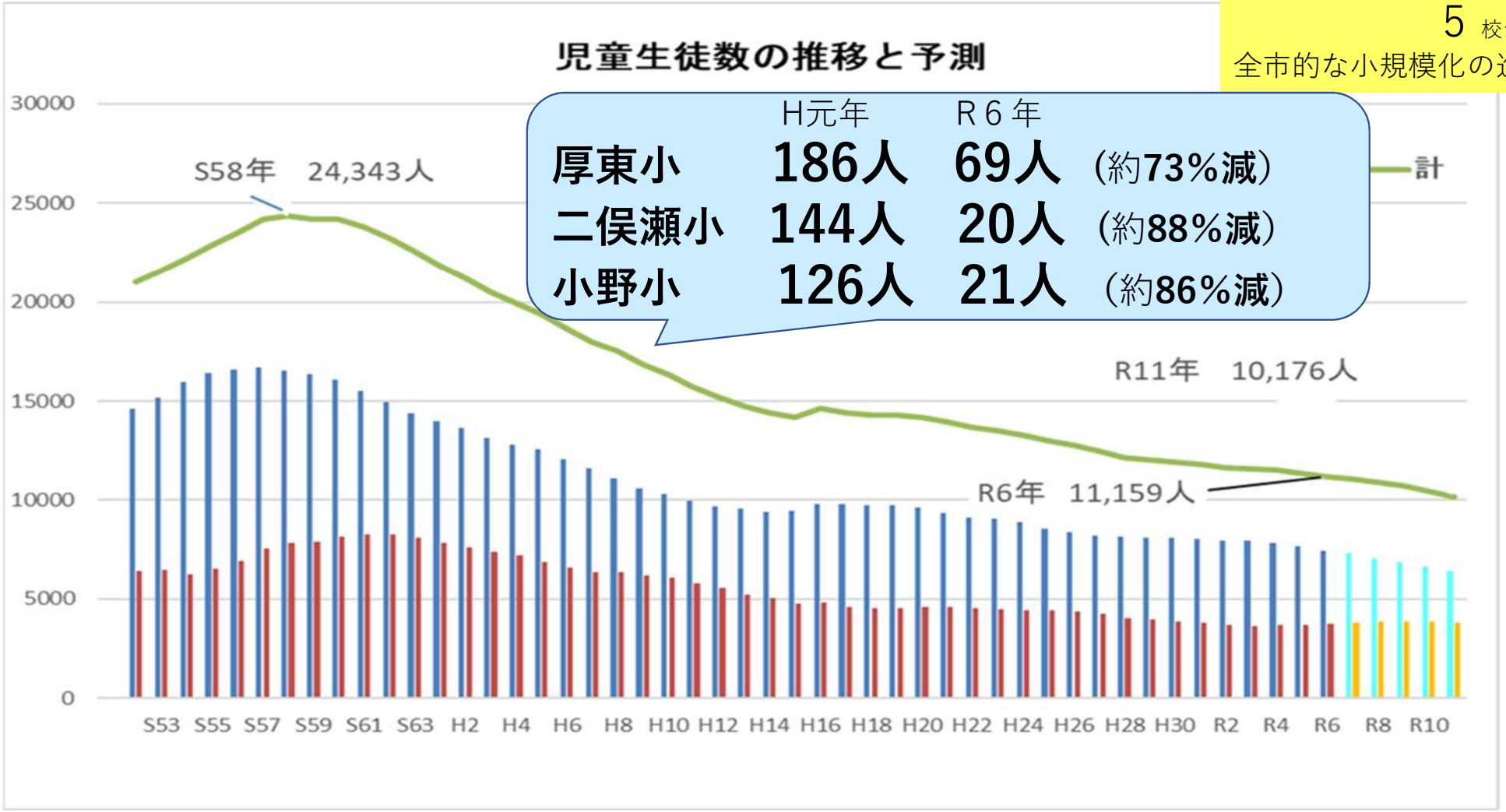
【理想形】

　児童生徒の社会性を育むことができる集団規模を有し、校区の中心に位置する同一敷地内に小中学校がある義務教育学校

宇部市の現状と課題

1　宇部市の児童生徒数

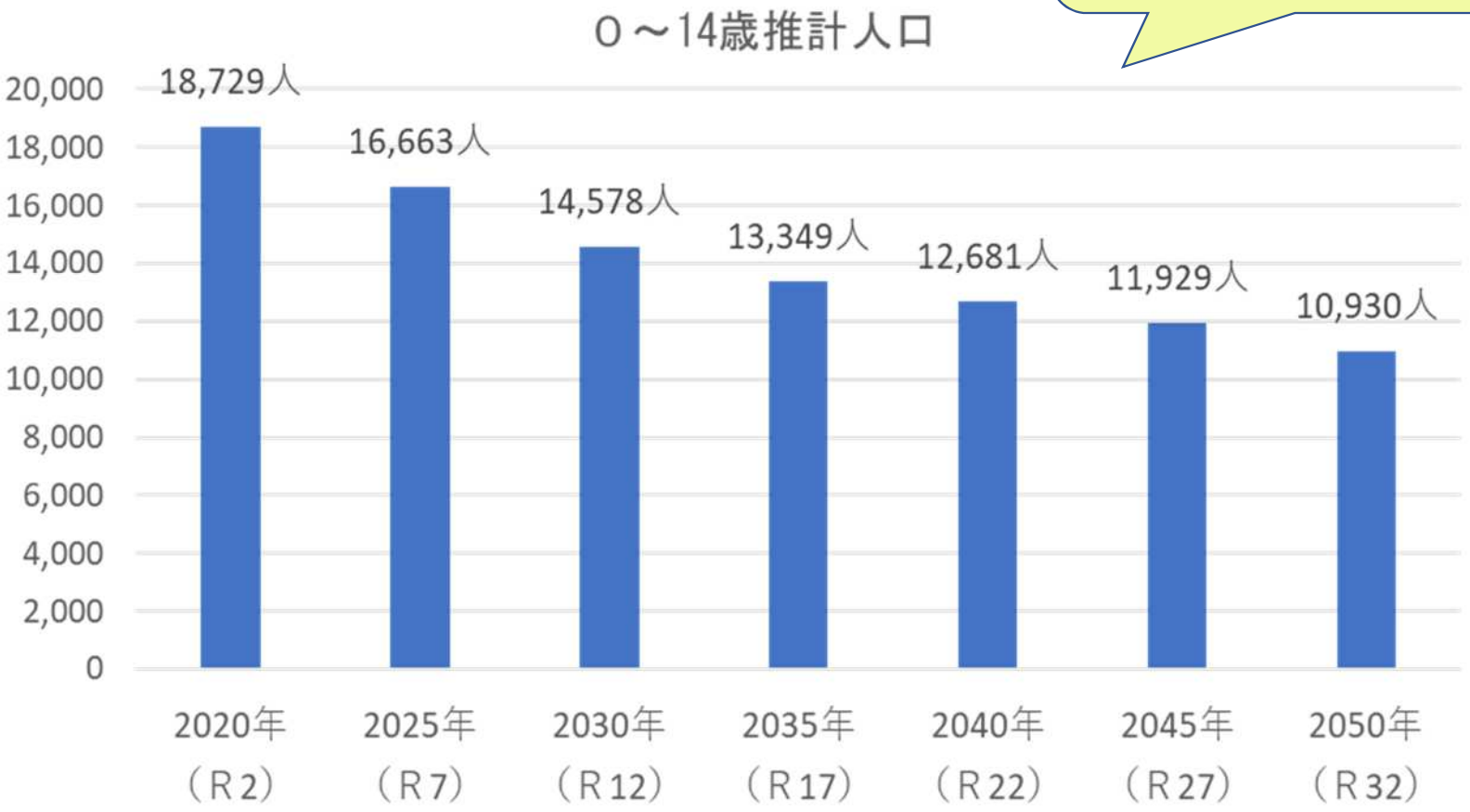
学校規模（令和６年５月１日現在）
24小学校　4 校が複式学級
5 校が単学級
全市的な小規模化の進行



	H元年	R６年	
厚東小	186人	69人	（約73%減）
二俣瀬小	144人	20人	（約88%減）
小野小	126人	21人	（約86%減）

本市の将来推計人口

30年間で７，７９９人
４２％減少



出典：「日本の地域別将来推計人口（令和５年(2023)年１２月公表）」（国立社会保障・人口問題研究所）

2　小中一貫教育

■小中一貫教育とは

連続する小中学校で**「めざす子ども像」**を共有して、９年間を通じた系統性

・連続性のある教育活動を行うもの

⇒**「中一ギャップの緩和や解消」「確かな学力の定着」**などの実現を目指す

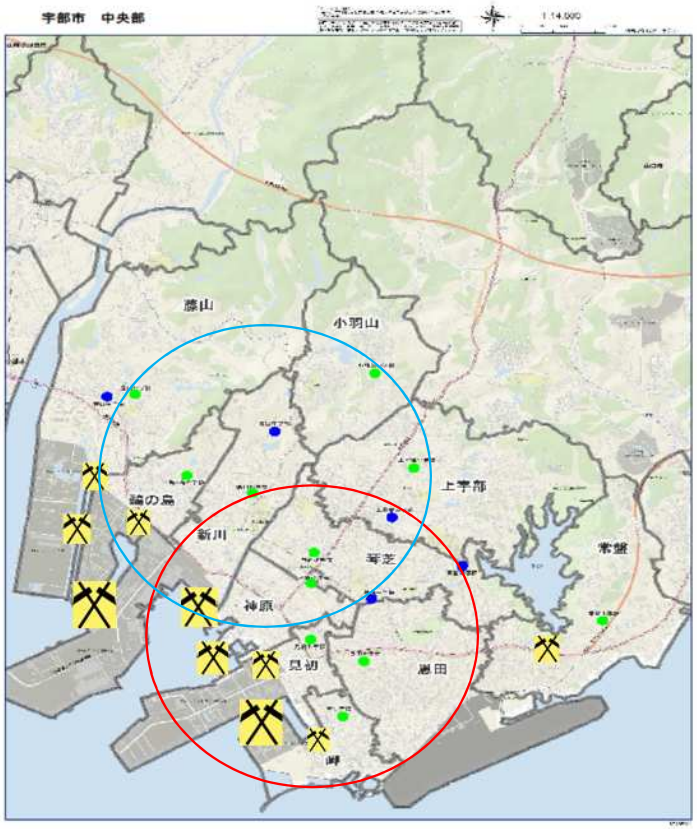
令和２年度からすべての中学校区で導入

問題点

進学先が分かれる小学校では、どちらか一方の中学校と連携することとなるため、連携先でない中学校に進学する児童については、系統性・連続性のある教育活動が難しい

3　学校選択制

通学区域の弾力化を図るため、学区の一部の自治会に居住する児童生徒が、住所地の属する学区の学校（就学校）に加えて、隣接学区の学校を選択できる制度



平成２０年度から通学区域に偏りが生じている学校で導入

問題点

利用者の増加により本来の就学校で大幅に入学者が減少している学校がある

4　学校施設

施設（校舎）の建設年度一覧

令和６年４月１日現在

小学校名				経過年数	中学校		
				70年以上	藤山	常盤	
	藤山	神原	鵜ノ島	69年～築60年	桃山	厚南	
恩田	新川	原	万倉	59年～築50年	西岐波	東岐波	
厚南	上宇部	常盤	東岐波	49年～築40年	楠		
厚東	小羽山	西宇部	見初				
			吉部				
川上	船木	琴芝	黒石	39年～築30年	川上	黒石	神原
		小野	二俣瀬	29年～築20年	上宇部		
			西岐波	19年～築10年	厚東川		
			岬	築10年未満			

◆課題解決に向けた取組の方向性

①小中一貫教育の推進

進学先が分かれる小学校の解消を図る

②望ましい学校規模の確保

一定の集団規模を確保するための基準(適正規模・適正配置基準)を定めて、通学区域の変更や適正配置の検討を進める

③学校施設の整備

学校施設の更新時期を踏まえた、学校の統廃合の検討を進める

◆望ましい学校規模と学校配置の基準

《適正化のための地域区分》

市街地地域：北部地域以外

北部地域　：厚東、二俣瀬、小野、船木、万倉、吉部

■望ましい学校規模の基準

	市街地地域	北部地域
小学校	12学級以上（1学年2学級以上）	6学級以上（1学年1学級以上）
中学校	6学級以上（1学年2学級以上）	3学級以上（1学年1学級以上）

■望ましい学校配置の基準

	通学距離	通学時間
小学校	おおむね４Km以内	おおむね１時間以内
中学校	おおむね６Km以内	おおむね１時間以内

◆配置の適正化に向けた具体的な取組

①小中一貫教育の推進

一つの小学校からは一つの中学校の進学となるよう、中学校の通学区域を優先的に見直し、必要に応じ小学校の通学区域の見直しを行う。

【進学先が分かれる小学校の中学校区域の再編】

	現在の進学先	再編後	対象地区
常盤小	西岐波中・常盤中	西岐波中	常盤全区
琴芝小	上宇部中・常盤中	神原中	琴芝全区 （琴芝１区から1-１０区を除く）
		常盤中	琴芝１区から1-１０区
鵜ノ島小	桃山中・藤山中	藤山中	鵜の島全区

→ 恩田小へ区域変更

②望ましい学校規模の確保
検討対象校

《市街地地域の検討対象校》

岬小学校、見初小学校、神原小学校、鵜ノ島小学校

《北部地域の検討対象校》

厚東小学校、二俣瀬小学校、小野小学校、
万倉小学校、吉部小学校

複数の学校が集中し、老朽化が進んでいる学校がある市街地地域の検討対象校から優先的に取り組む。北部地域は当面の間、今の学校を維持する

③学校施設の整備

施設一体型小中一貫校または義務教育学校の設置を目指す

【市街地地域の適正化の方向性】

■検討対象校：見初小学校、神原小学校

３小1中（見初小、神原小、琴芝小、神原中）の施設一体型小中一貫校の設置に合わせ統合を進める

■検討対象校：鵜ノ島小学校

２小１中（藤山小、鵜ノ島小、藤山中）の施設一体型小中一貫校の設置に合わせ統合を進める

■検討対象校：岬小学校

本計画期間中は、適正化は行わず小規模校のメリットを活かした教育の充実を図る

【北部地域の適正化の方向性】

■検討対象校：厚東、二俣瀬、小野、万倉、吉部の各小学校

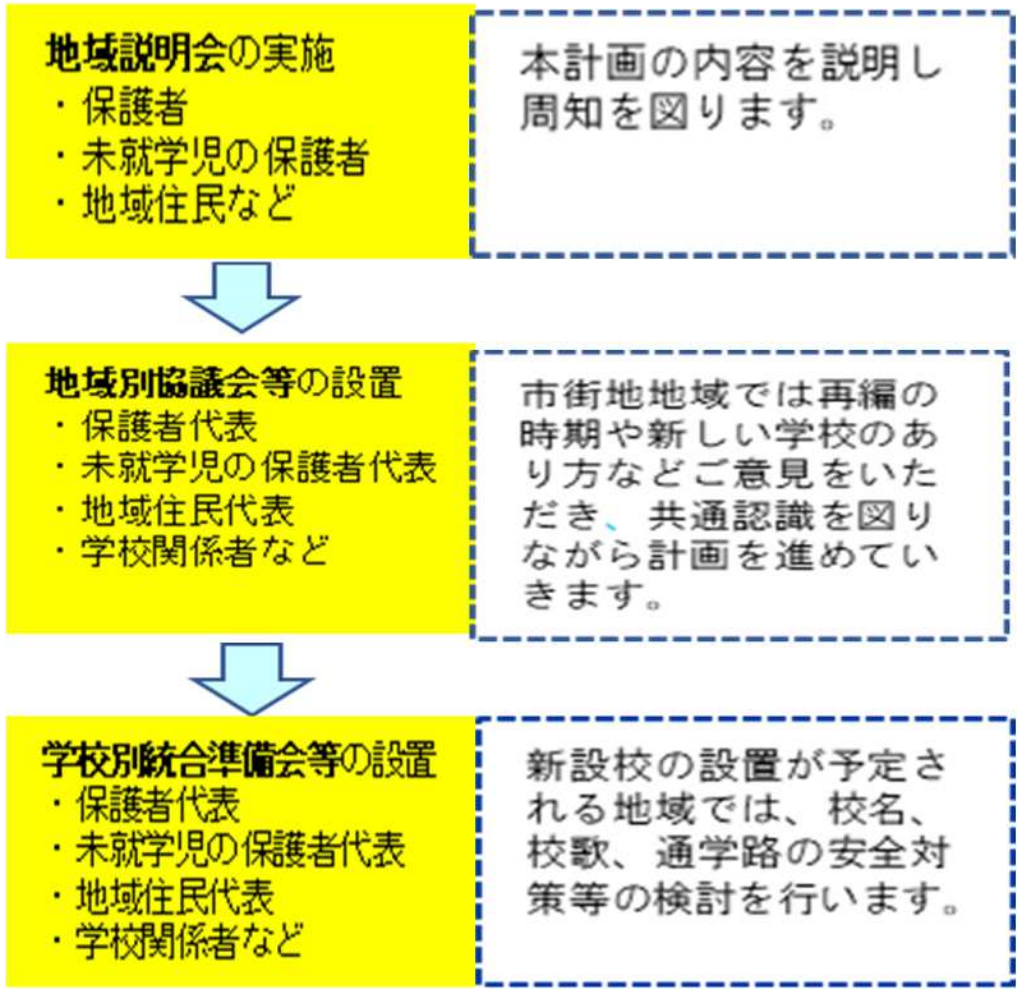
令和１１年度時点で５年先までの児童数の推移が、１学年２人相当である、学校全体で１２人未満（住民基本台帳上の推計値）の見込みとなった場合は適正化を推進していく。

■学級数と児童数の比較

令和６年度				校数	学級数	校数	令和11年度推計				
複式学級	二俣瀬（20）	小野（21）	吉部（21）	3	3	2	二俣瀬（14）	小野（9）	吉部（9）	万倉（18）	複式学級
複式学級と単学級			万倉（29）	1	4	0					
単学級				0	5	0	厚東（48）	複式学級と単学級			
岬（140）	船木（116）	鵜ノ島（112）	見初（96）	厚東（69）	5	6	1	神原（167）	岬（102）	船木（89）	鵜ノ島（106	見初（76）
１～２学級/学年					0	8	3	西宇部（196）	単学級			
					0	10	0	小羽山（221）	１～２学級/学年			
		原（261）	西宇部（247）	小羽山（277）	3	11	1	川上（285）				
		川上（385）	神原（315）	琴芝（284）	3	12	1	新川（315）	原（260）			

◆計画の進め方と配慮事項

（1）計画の進め方



（2）配慮事項

①児童生徒の不安解消

・事前の交流機会の充実と再編後のきめ細やかなケア
・緩やかな移行に向けた仕組みの検討

②児童生徒の通学支援

・スクールバスや公共交通機関の活用
・学校と保護者や地域の連携

③小規模校の課題への配慮

・中山間地域では、特認校制度の活用や移住定住策の推進に地域や市長部局と連携し取り組む。

再編スケジュール

<table>
<tr><th></th><th>R6年度
（1年目）</th><th colspan="2">R7年度
（2年目）
R8年度
（3年目）</th><th>R9年度
（4年目）</th><th>R10年度
（5年目）</th><th>R11年度
（6年目）</th><th>R12年度
（7年目）</th><th>R13年度
（8年目）</th><th>R14年度
（9年目）</th><th>R15年度
（10年目）</th></tr>
<tr><td>藤山中</td><td rowspan="3">地域説明</td><td colspan="2" rowspan="3">地域協議
再編準備</td><td colspan="6">中学校区の再編（藤山小・巽ノ島小）</td><td rowspan="4">2小1中
小中一貫
校開校</td></tr>
<tr><td>藤山小</td><td>2小1中
小中一貫校
基本設計</td><td>実施設計</td><td colspan="4">施工</td></tr>
<tr><td>巽ノ島小</td><td colspan="6">開校準備委員会設置（開校に向けた検討・準備）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6">藤山中学校へ進学</td></tr>
<tr><td>神原中</td><td rowspan="4">地域説明</td><td colspan="2" rowspan="3">地域協議
再編準備</td><td colspan="9">中学校区の再編（見初小・神原小・琴芝小）</td></tr>
<tr><td>神原小</td><td colspan="2" rowspan="2">地域協議
（3小1中小中一貫校）</td><td colspan="4" rowspan="2"></td><td>3小1中
小中一貫校
基本設計</td><td>実施設計</td><td>施工
R19年度
開校目途</td></tr>
<tr><td>琴芝小</td><td colspan="5" rowspan="2">開校準備委員会設置
（開校に向けた検討・準備）</td></tr>
<tr><td>見初小</td><td colspan="9">神原小・琴芝小との交流や合同学習・小規模校のメリットを活かした教育の充実（R19年度新設一貫校へ）</td></tr>
<tr><td>常盤中</td><td rowspan="3">地域説明</td><td colspan="2" rowspan="2">地域協議
再編準備</td><td colspan="9">中学校区の再編（恩田小・岬小）</td></tr>
<tr><td>恩田小</td><td colspan="9">小学校区の再編（琴芝小の一部編入）</td></tr>
<tr><td>岬小</td><td colspan="11">恩田小との交流や合同学習・小規模校のメリットを活かした教育の充実</td></tr>
<tr><td>西岐波中</td><td rowspan="2">地域説明</td><td colspan="2" rowspan="2">地域協議
再編準備</td><td colspan="9">中学校区の再編（西岐波小・常盤小）</td></tr>
<tr><td>常盤小</td><td colspan="9">西岐波中学校に進学</td></tr>
<tr><td>厚東小
二俣瀬小
小野小
吉部小
万倉小</td><td>地域説明</td><td colspan="3">他校との交流や合同学習・小規模校のメリットを活かした教育の充実、地域や市長部局と連携した児童生徒増加策の推進</td><td colspan="7">R11年度時点で5年先までの児童数を確認し、
児童数の推移が学校全体で12人未満の見込み
となった場合は適正化を推進</td></tr>
</table>

【関連校】

<table>
<tr><td>桃山中</td><td rowspan="2">地域説明</td><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="9">中学校区の再編（小羽山小・新川小）</td></tr>
<tr><td>上宇部中</td><td colspan="9">中学校区の再編（上宇部小）</td></tr>
</table>

小規模校のメリット

・補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。

・意見や感想を発表できる機会が多くなる。

・一人ひとりがリーダーを務める機会が多くなる。

・地域の協力が得やすく郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。

メリットを活かした取組

・ＩＣＴ(電子黒板・タブレット端末等)を効果的に活用

・異年齢活動や共同学習を計画的に実施　など

小規模校のデメリットの緩和策

・他校との合同授業を継続的、計画的に実施

・地域人材の参画により社会性を育てていく機会を確保

◆地域とともにある学校　厚東小学校区

2年生　生活科

田植え

たけのこ堀り

オータムスクール　2024

花壇　土づくり

◆小中一貫教育の取組

【北部３校の集合学習】

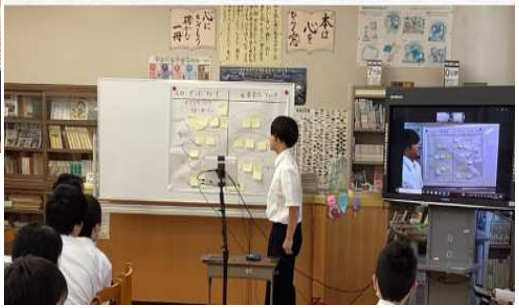
５年生　タグラグビー体験

3.4年生　ランプシェード作り

1.2年生　ドッジボールや制作活動

【合同学校運営協議会　熟議】

「小中合同駅伝大会・交流会を盛り上げよう」



◆地域とともにある学校

二俣線小学校区

熟議「こんな生活・総合をやりたい」
～二俣瀬・地域の専門家に相談しよう～

『フタマタセコーヒー』店員体験

じゃがいも収穫体験

うべ乗馬クラブ見学

太鼓指導

◆小中一貫教育の取組

小野小合同修学旅行

集合学習

◆地域とともにある学校

小野小学校区

いもの苗植え体験

カヌー体験

しめ縄づくり

紙漉き（卒業証書作成）

◆小中一貫教育の取組

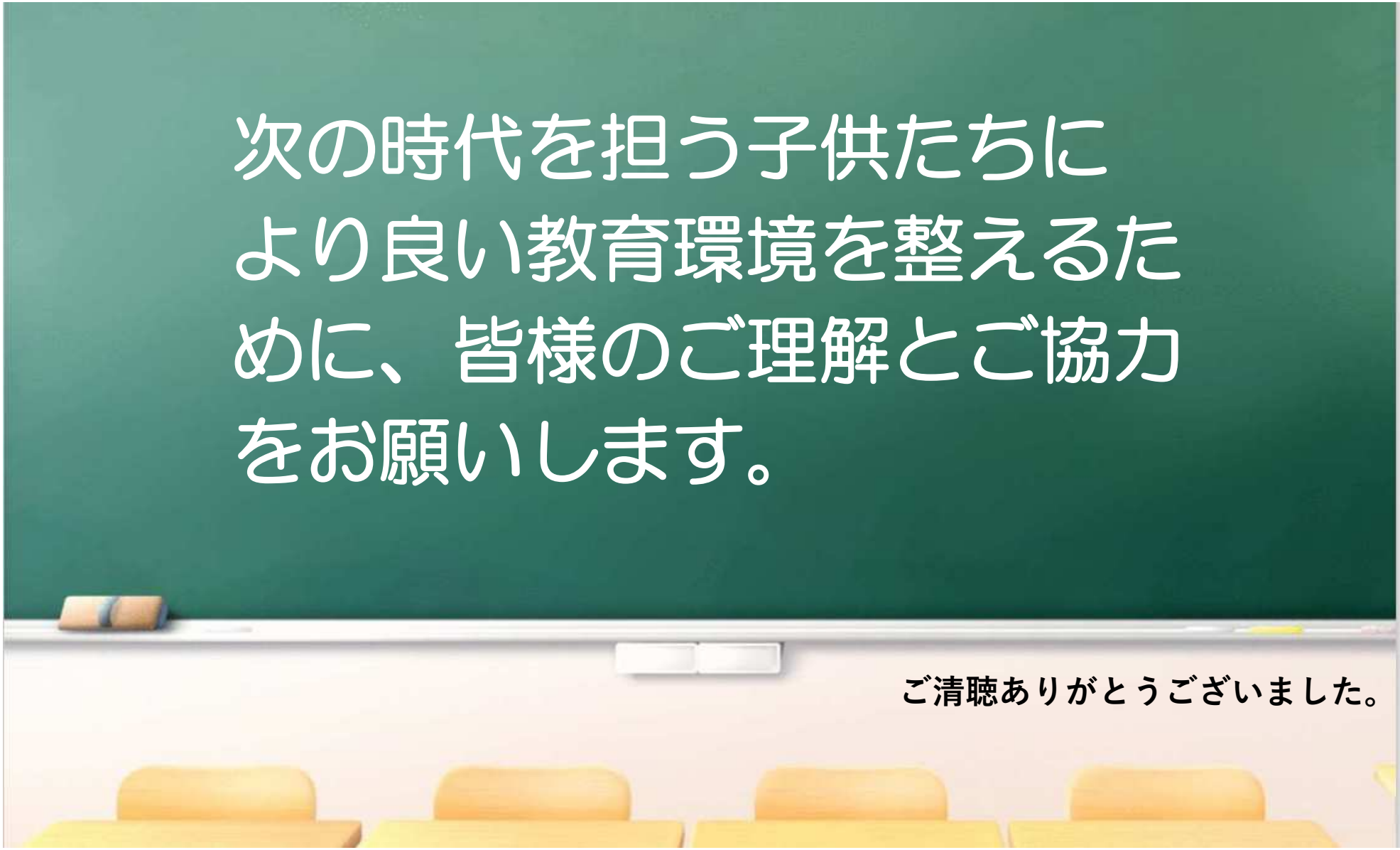
６年生　二俣瀬小との合同修学旅行

5年生　３校の集合学習でタグラグビー体験

3.4年生　二俣瀬小とズーム学習

１.２年生　ドッジボールや制作活動

次の時代を担う子供たちに
より良い教育環境を整えるた
めに、皆様のご理解とご協力
をお願いします。



ご清聴ありがとうございました。